

FLORE21 ホットニュース

会長 小池潔のあれこれコラム

「大津から新宿に、10歳の子供」 2

9月の学校の始まりに2つの目標を立てました。一つはお昼の給食で「話をする」。2つ目はいい友達ができるように。

12歳離れている兄は、いくつか趣味があって、私が新宿へ来てからたくさんのところへ連れて行ってってくれた。10分も歩くと新宿末廣亭があり落語好きの兄は頻りに私を連れて行ってってくれた。当時小学生は無料だった。

初めて寄席にきて落語というものに出会った。学校の勉強はなかなか頭に残らないが、落語の一つ一つは「すーと」頭に入った。寄席で兄が「帰るか」と聞くと「もう少し」とよく言っていた。

お昼の給食後の、20分程度のお話の時間に、話しをする機会が来た。何度もおさらいをし、落語をやった。反響はほとんどなかったようだったが、その日、学校を出たときに、「小池君」と呼び止められ、「面白かった、またやってよ」。と一人の生徒に言われた。彼は四谷第五小学校で初めての友達になったH君。それから野球をやったり、数人で勉強をしたりした。そして、その後も2度ほど給食後の時間に落語をした。

学校から5分のところに伊勢丹があり、学校の塀が花園神社。そこでは商売繁盛を祈願する伝統行事「大酉祭(新宿酉の市)」が行われます。先月も花園神社がテレビで酉の市を写していた。ゴールデン街という繁華街の前に小学校があるのも今考えるとおかしなもの。

校舎が建てられたのが昭和9年で、そのころは遥かに環境が良かったのでしょう。後に四谷第5小学校の環境が少しずつ悪くなり、子供たちがいなくなり、四谷第7小学校と統合し「四谷第5小学校」は平成7年廃になりました。

大家さんの新宿区はこの四谷第5小学校をこのままの姿で借りてくれるところを探したが借り手がなかった。区は仕方なく、区役所のいくつかの部門を学校に移し使った。



それから14年、平成21年吉本興業が、「吉本興業東京本部」として学校をそのままのかたちで借りてくれた。吉本興業は新宿区役所と、学校のあらゆるものを残すと約束をして、現在も、子供の机や椅子、黒板にトイレ、すべての教室もそのまま、きれいに使っています。

私はお正月を越して、恵比寿に移り、母、長男、次男、そして私、4人で暮らすことになりました。私は3か月間トロリーバスで四谷第五小学校へ通いました。そのころ渋谷から新宿、池袋と線が引かれトロリーバスが走っていました。

私はたった1年間、長男と新宿で暮らしましたが、知らないことばかりでした。のちに知るのですが、東京大学を目指した生徒が女子も含めてクラスに8人もいたそうです。もちろん全ては入学することができていなかったが、私にもその思いが見えていました。

毎日が驚きの連続、知らないことの毎日、ここでの1年はきっと、自分にも何かの力をつけてくれたように感じています。

余談ですが中学は渋谷の鉢山中学校、素晴らしい学校でした。しかし、ここも一年間だけ。放浪の旅はまだ続きます。

OFLOの部屋

いつもお世話になっております、そして

(`v`★)Merry..☆.*Å*.. ☆... X' mas♪(★' v)

先日ガーベラの生産者“ADORE FLOWCA”さんを訪ねて静岡県に行って参りました。

敬愛なるガーベラとして

私たちの“大好き”を届けたい・・・

ガーベラを真剣に選び、大切に育て、丁寧に出荷する。

『好きこそものの上手なれ』

ガーベラをもっと自由に素敵に提案します。



ADORE…敬愛なる、大好きな、慕う、敬う、恋う

FLOWCA…ガーベラの和名:扶朗花と FLOWER との造語

ADORE さんのカタログから抜粋した文章です。

品質の良いガーベラを作る+ α なスタンスが表現されていて素晴らしいですね。
私はこの“+ α ”が大切なんだと思います。

ガーベラの葉を模した迷彩柄がオシャンな表紙のカタログは大田店本店で配布中です。

話しは変わって、アルゼンチンの優勝で幕を閉じたサッカーワールドカップ。盛り上がりましたね。寝不足になった方も多かったんじゃないでしょうか。

サッカーとガーベラ、一見関係がなさそうですが**ムムッ！あるんです！** (川平慈英風)

サッカー選手の名前がついたガーベラが、**くうー！多いんです！** (川平慈英風②)

●ベルゴミ



かつて長友選手も所属していた名門
インターミラノで“ミスターインテル”
呼ばれていた名DF。

イタリア代表としても活躍していた
老け顔と鮮やかなピンクのガーベラ
とのコントラストが絶妙ですね。

●ハジ



またピンクのガーベラと老け顔
(笑)

ルーマニアの英雄にして東欧の
マラドーナの異名も持つテクニ
シャン。94年アメリカ大会コロ
ンビア戦で決めた30メートル
のロングシュートは語り草。

●トーレス



初のイケメン。なので画像も大きめ。

Jリーグでも活躍したスペイン人ストライカー。キャプテン翼の大ファンらしいです。

●イギータ



個性的なの欧陽菲菲みたいな髪型だけではなく、攻撃型ゴールキーパーと称されたそのプレースタイル。キーパーなのに41得点を記録。

小柄ながら俊敏な動きでスーパーセーブを連発するコロンビアを代表するサッカー選手。

他にもマルディーニ、タファレル、エンリケ、バレージ、バルデラマ、パヌッチ、レコバ、アイマールなどの品種があります。

自分だけのドリームチームをガーベラで作ってみるのも楽しそうですね！

この1年、フローレ21大田店をお引き立ていただき誠にありがとうございました。

『花は人を幸せにできる』という言葉を胸に来年もスタッフ一同、いっそう皆様のお役に立てるよう尽力して参りますので、どうぞよろしく願いいたします。

大田店 山口

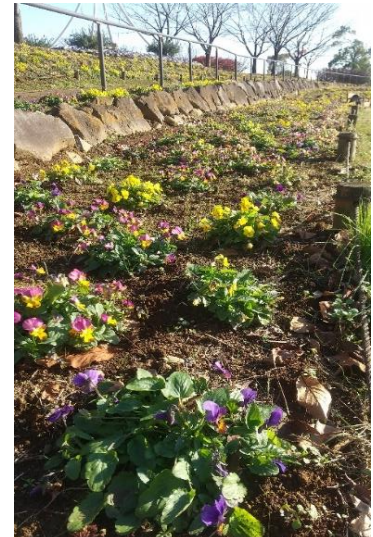
世田谷店おすすめ

今回は、神奈川県平塚市にある神奈川県立花と緑のふれあいセンター「花菜ガーデン」に行ってきました。



花菜ガーデンは2010年3月にオープンした園芸や農業を楽しみながら学べる施設です。

暖かい時期であれば広い芝生の上でお弁当を食べながらピクニックをするのも楽しそうです。



花の色、形の様々なシクラメンを50種100鉢展示しています。



赤や黄色、ピンクのアイスチューリップおよそ7000本が見頃を迎えています。
アイスチューリップは球根を冷蔵保存するなどして冬の初めに咲くように調整されたもので、今年は例年より暖かかったことから、早いもので先月下旬頃から咲き始めたということです。



寒いこの季節、枯木が多い中でこれだけ色とりどりの花が見られるのはとてもありがたいですね。

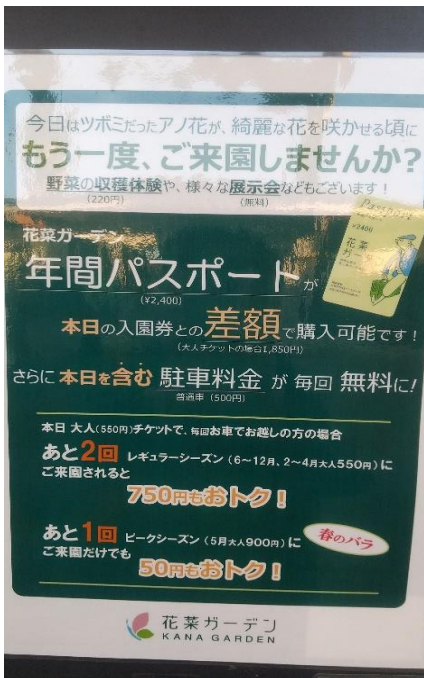


クリスマスをややかに彩る寄せ植えやハンギングバスケット、リースの展示、販売会も行われていました。



「バラの轍」と名付けられたバラ園は、「野生種とその交配種」、「オールドローズ」、「モダンローズ」、「クライミングとシュラブローズ」、「イングリッシュローズ」、「香りのバラ」などの区画に分けられ、順路に沿って鑑賞して行けばバラの品種改良の歴史を辿ることができるという趣向になっています。

見頃の時期に是非、見てみたいです。



今回初めて花菜ガーデンに来ましたが、とても広くてきれいで驚きました。

帰り際に発見した年間パスポート、思わず買ってしまいました。お得です!

来年、たくさんの花が咲き誇る姿を見に是非、また来たいと思います。

今年もあと一週間、体調管理に気をつけて怒涛の一週間頑張っていきましょう。来年もフローレ21 世田谷店“加工部”をよろしくお願い致します。

世田谷 関

仕入れの素☆葛西店

はじめまして。9月に入社しました、依田（よだ）と申します。
花業界は初めてで、今は葛西店で主に店頭に立っています。

3ヶ月が経ち、ホットニュースのバトンが渡ってきてしまいました。
私にとっては全てがホット案件なのですが、先日、松の仕入れをする場面に少しだけ立ち会わせていただいたので、そのときに見たもの、感じたこと徒然なるままに書こうと思います！

12月に入りお客様から松の問い合わせを頂くようになった頃、上司から、同じ品種の松でも全然違うから仕入れが難しいという話を聞きました。
分かったような分からないような、そんな状態でしたが、松の仕入れに同行し、その意味が少し理解できた気がします。



12月9日（金）
葛西市場 2 階の
様子。

松市は 12 月 11 日（日）に行われました。

正確な本数は調べられなかったのですが、何万本もの松が一堂に会していました。

この日は、フローレ 21 各店舗の仕入れ担当者が仕入れに来ており、みんな目を光らせながら松を選んでいました。想像以上に殺伐とした雰囲気でもっとびっくりでしたが、それだけエネルギーをかけて挑むイベントなのですね。



神々しい・・・



多種多様な松がありました。

正直これまでは「松＝渋い植物」程度のイメージしか持っていなかったのですが、意図的にデザインされた松などもあり、「渋くて、カッコよくて、お洒落」という印象に変わりました。

また同じ品種のものでも、全体的な形、サイズ、葉のつき具合、ステムの流れ方や太さ？など様々で、一つ一つに特徴がありました。

使うシーンや要望に対して適切な松を仕入れとなると、かなりの経験とセンスが必要とされるのだろうかぁと感じました。

これから沢山の松を見て、勉強したいと思います！

最後に、お正月に松を飾る理由を調べてみました。

日本では昔から、木の梢に神さまが宿ると考えられており、常に緑の葉をたたえる常緑樹の松は、歳神さま（元旦に、家々に新年の幸せをもたらすために、高い山から降りてくる神様）を迎え入れるための依り代とされ、門松を玄関に飾るようになった…そうです。

古くからの慣習、それも神聖な類の慣習（祈り）が今の時代も続いているって、個人的には素敵なことだなぁと思います。

松を飾って、多くの人が幸せな新年を迎えられますように。

葛西店 依田

